

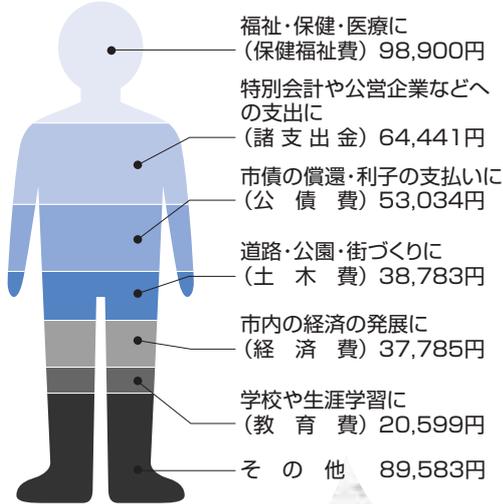
4 市民一人当たりの一般会計の内訳

平成15年度の人口を184万人として計算すると、



地域経済の活性化(4・5ページ)

一人当たりの歳出の金額は約40万円



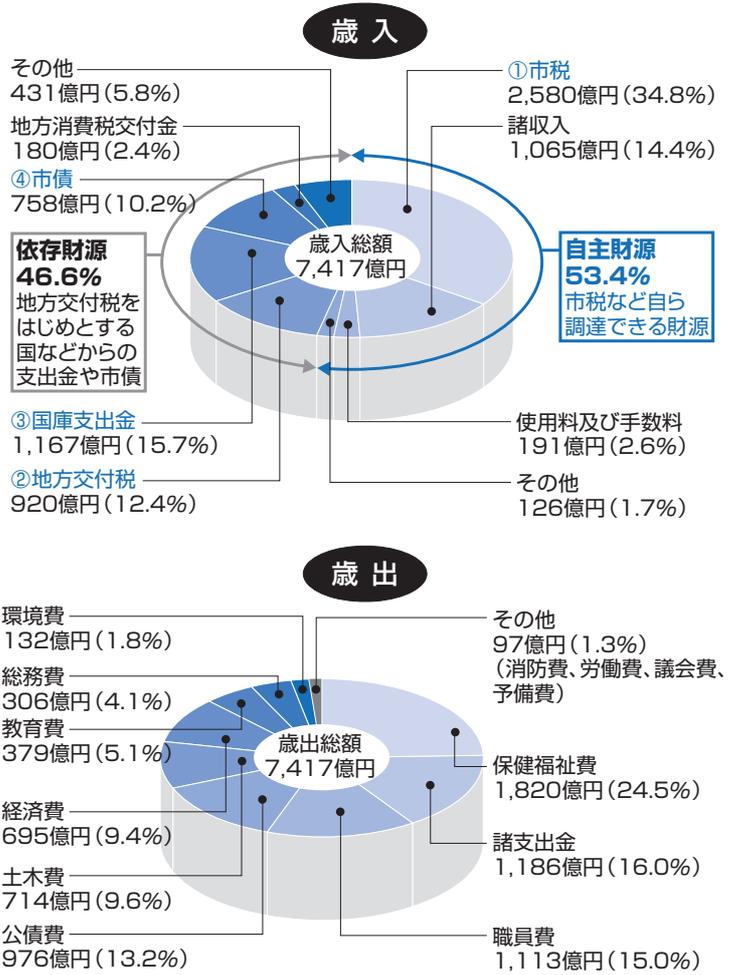
市民の心豊かな暮らしの実現(8ページ)



少子高齢社会に対応した地域福祉の推進(6・7ページ)

3 一般会計の内訳

※ 各数値は四捨五入しているため、金額・割合ともに合計と一致しない場合があります(歳入・歳出の総額は切り捨て)。



補正予算の財源を確保しつつ 三つの施策に重点配分

歳入③

札幌市は自主財源の割合が低く、財政基盤は極めて弱いといえます。しかし、財政構造にかかわらず、各施策を着実に進めていかなければならぬため、十五年度も、引き続き可能な限り財源確保に努めています。

歳出④

当初予算は、次の三点を柱として掲げています。一点目は「地域経済の活性化(4・5ページ)」、二点目は「少子高齢社会に対応した地域福祉の推進(6・7ページ)」。最後は「市民の心豊かな暮らしの実現(8ページ)」です。

本市を取り巻く社会経済情勢は、決して楽観できるものではありません。十五年度も、絶えず事務・事業を見直しながら、より効率的な予算の執行に努めていきます。

①市税 十五年度は、土地・家屋の評価替えによる固定資産税と都市計画税の大幅な落ち込みが見込まれます。全体では前年度比で六十五億円減の二千五百八十億円となり、当初予算計上額としては、平成二年度以来の低い水準にとどまっています。

②地方交付税 前年度比約百七十六億円減の千億円程度を見込んでいます。このうち、当初予算には九百二十億円を計上し、残りは補正予算などの財源として留保しています。

③国庫支出金 長引く景気低迷により生活保護費などが増加しているため、前年度比九億円増の千百六十七億円を計上しています。

● 新年度の主要事業の詳細については、次ページ以降で紹介いたします。なお、名称・数字には、仮称・予定数字が盛り込まれています。あらかじめご了承ください。